

PB

あなたのキャリアはさらに広がる！
プライベートバンキング(PB)教育プログラム

PRIVATE BANKING

どうしてCMAにプライベートバンカー資格なのか？

アナリスト資格者は金融業界のみならず、ビジネス界の様々な分野の第一線で活躍しています。



プロを相手にビジネスしている自分には、リテールは関係ないね。

PB資格はFP資格と変わらないでしょ。自分は既にFP資格者だから必要ないよ。

本当にそうでしょうか？

実はPB資格は、CMAと一番親和性のある資格なのです。



理由 その1 お金持ちの多くは企業オーナー

企業オーナーへのアドバイスは、従来のような資産の所有や個人のライフプランに止まらず、顧客企業の世代を超えた事業経営やファミリーにまたがる多面的な視点が不可欠です(右頁参照)。

このようなニーズに応えられるのは、従来から企業オーナーと同じ目線で企業や経営動向、マーケットを分析してきた証券アナリストならではのアドバンテージです。

理由 その2 ダブル資格でキャリアをパワーアップ

日本証券アナリスト協会ならではのノウハウ満載の「ウェルスマネジメント」をはじめ、海外を含めた「不動産」、「税金」、「信託」、顧客との関係構築のノウハウを学ぶ「リレーションシップ・マネジメント」、「マス富裕層」、「職業倫理」など科目は多岐にわたります。

実際にシニアPBを取得したCMAである会計士の方からも、「自分の業務の幅が広がった」との感想が寄せられています。あなたもCMA+PBでさらにキャリアをパワーアップしましょう！

PRIVILEGE

こんなにあります会員特典

<受験資格>

プライマリーPB: どなたでも受験できます

シニアPB: 検定会員、検定会員補、1級FP、CFP、プライマリーPBの方が受験可

<会員へのウェルスマネジメント科目の一部受験免除特典>

プライマリーPB: 64問(第1単位)のうち12問を免除

シニアPB: 50問(第1単位)のうち10問を免除

<受験料の割引>

1割引: 検定会員、一般会員、個人賛助会員、検定会員補の方

さらに1割引: 法人会員・法人賛助会員の企業に所属されている方

富裕層(マス富裕層を含む)を顧客とするPBの役割が金融リテール分野でますます重要性を増す中で、上記特典を活かし、多くの方がチャレンジされることをお待ちしております。

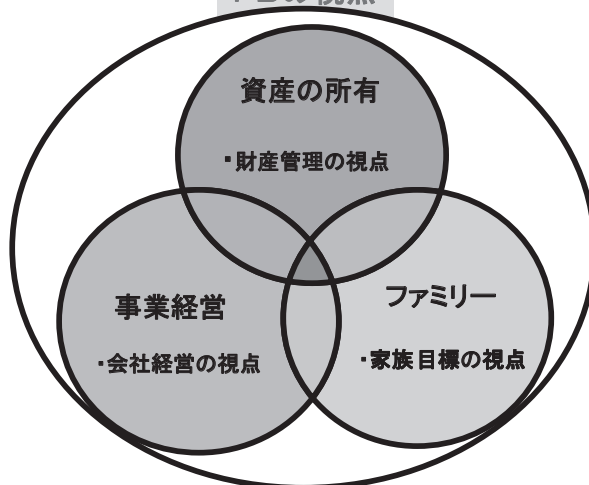


本邦初、富裕層ビジネスに特化した注目の新資格

ADVANTAGE PB教育プログラム 3つの特色

1. PBは3つの領域をカバーする
全体最適アプローチで問題解決を提供します。
2. そのために、**実務に即した実践的なケーススタディ**を豊富に組み込んでいます。
3. 常に最新のスキルを取得できるよう、**継続教育プログラム**を提供しています。

PBの視点



CURRICULUM 7つの学習科目と3つの資格ランク

太字はPB教育プログラムの特色

b>

単位	科目名	特徴
第1	ウェルスマネジメント(WM)	証券アナリストを長年育ててきたアナリスト協会のノウハウを満載
第2	不動産 (含む海外)	資産運用の一環としてのメリットと留意事項に焦点
	税金 (含む海外)	相続税や資産課税など資産運用の鍵を握る税金に焦点
第3	信託・エステートプランニング	富裕層の資産を安定的に運用し、次世代への円滑な承継を支援
	リレーションシップ・マネジメント(RM)	顧客との信頼関係を構築するために必須のノウハウを学習
	マス富裕層	従来PBで十分サポートされなかった顧客層へのサービスを強化
	職業倫理	強い自己抑制と自発的に最善を尽すことを強調

	プライベートバンキング・ コーディネーター 	プライマリー・ プライベートバンカー 	シニア・ プライベートバンカー
レベル	入門コース	中級コース	上級コース
試験 方式	コンピュータ試験	コンピュータ試験	コンピュータ試験 ＋筆記試験(投資政策書)

★コンピュータ試験は、全都道府県100カ所余りの会場でほぼ毎日受験可能です(祝祭日、年末年始等は除く)。
★プライマリーPB、シニアPBにおいて、CMA、証券アナリスト基礎講座修了者、証券アナリスト第一次レベル試験合格者、1級FP技能士、CFP認定者、税理士、公認会計士には、資格ランクに応じて**試験科目の一部免除**があります。